

防衛医大ホームページのお知らせとお願い

【申請者名】 総合臨床部 内田香介

【課題名】

ホルモン産生腫瘍の発生機構・病態生理の解明に関する研究

<詳細>

体にできる腫瘍の中にはホルモンを異常に作ってしまうものがあり、ホルモン産生腫瘍と呼ばれます。ホルモンバランスの異常は生活の質（QOL）を損ない、命にもかかわるため、そのバランスの正常化にはホルモンを異常に作っている腫瘍を手術で取り除いてしまうことが治療の基本になります。手術で取り除いた腫瘍組織の一部を使わせていただき、ホルモンがどのように調節されているのか、なぜホルモンを異常に作るようになってしまったか、ホルモンの調節にかかわる遺伝子・蛋白について研究し解明することを目的とし計画しました。

本研究は、平成 10 年 1 月 1 日から平成 22 年 1 月 31 日までの間に、防衛医科大学校内分泌代謝内科にて精査しホルモン産生腫瘍と診断され、治療として外科的切除が行われた方を対象とし、臨床データと手術で取り除かれた後の腫瘍組織の一部を用いて行います。そのため研究に参加することによって新たに生じる負担・危険・副作用・合併症はありません。

患者さんの臨床データや検体は通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。これまでに、防衛医科大学校病院内分泌代謝内科で精査し、ホルモン産生腫瘍の診断で外科的治療を経験した方で、ご自分の臨床データや手術検体を研究に使わないで欲しいというご希望が有りましたら、研究リストの連絡先までご連絡をいただけますようお願い致します。本研究への使用の拒否の意思を表明されても不利益な対応を受けることはありませんし、同意をした後でもいつでも不利益を受けることなく撤回することが可能です。

【研究対象】

平成 10 年 1 月 1 日から平成 22 年 1 月 31 日までの間に内分泌代謝内科にて精査しホルモン産生腫瘍と診断され、治療として外科的切除が行われた方

【連絡先】

TEL04-2995-1511 内線 3633

総合臨床部

内田香介